

新しい健康増進型バカンス、健康交流都市の在り方を提言

平成 23 年 5 月 1 日
特定非営利活動法人
日本ヘルスツーリズム振興機構

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構(理事長・森昭三)では、東日本大震災の復興を背景としたライフスタイルの影響を鑑み、新しい健康増進型バカンス、健康交流都市の在り方を提言します。

平成23年4月11日に政府で閣議決定された東日本大震災復興構想会議において「東日本大震災からの復興に当たっては、被災者、被災地の住民のみならず、今を生きる国民全体が相互扶助と連帯の下でそれぞれの役割を担っていくことが必要不可欠であるとともに、復旧の段階から、単なる復旧ではなく、未来に向けた創造的復興を目指していくことが重要である。」との指摘されましたように、名実ともに新しい価値観の創出による復興が肝要となってまいりました。

そこで、「ヘルスツーリズム(Health Tourism)」の振興を通じ健康増進型旅行、健康観光、健康都市の推進と発展を支援する当NPOの立場から、新しい価値観として以下2点を提言いたします。

1. 健康増進型の新バカンス

当NPOでは、これまでヘルスツーリズム(Health Tourism)について、「健康・未病・病気の方、また老人・成人から子供まですべての人々に対し、科学的根拠に基づく健康増進(EBH:Evidence Based Health)を理念に、旅をきっかけに健康増進・維持・回復・疾病予防に寄与する」と定義し、振興を図ってまいりました。

ところで、東日本大震災によって国民のライフスタイルや企業活動において、様々な形で大きな影響が及ぼされることが想定されています。特に、わが国においてWHO(世界保健機関)が定義する「身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態」という健康の状態を保つには厳しい環境にあることは言うまでもなく、国民の「健康」が損なわれることを懸念しています。

一方、電力需給対策の影響もあって、企業努力により企業従事者、ならびに家族の休暇取得の拡大が期待されます。こうした休暇を利用した積極的健康を追及するバカンスを提言します。

提言するのは、「家族や友人と健康観光地に従来よりも長くゆったりと滞在する中で、早寝早起き、運動、バランスのとれた食事、休養・睡眠といった規則正しい生活の心地よさ、すばらしさを体感し、また地域住民と交流しながら自分を見つめ直すようなバカンス」です。ますます高まる健康志向を背景とした健康的なライフスタイルのバカンス応用、さらには震災復興以降に求められている「絆」を大切にするバカンスです。誰もが健康的でイキイキとした状態を手に入れることが期待できるだけでなく、新たな発想の創出も期待でき社会への還元効果も期待できます。

2. 交流型健康都市の創出

産業化された社会における健康は、都市の健康状態と市民の健康状態双方の側面を鑑みる必要が指摘され、ヘルシー・シティ・プロジェクト(健康都市プロジェクト)が国内外で展開されています。具体的には、健康都市とは「健康を支える物的および社会的環境を創り、向上させ、そこに住む人々が相互に支えあいながら生活機能を最大限に生かすことのできるように、地域の資源を常に発達させる都市である。」という概念(WHO西太平洋地域事務局)で定義されています。

しかしながら、人口減少時代に入った日本では多くの健康観光地の定住人口が減少傾向になってきていることに加え、東日本大震災以降、被災地でなくても地域住民(居住者)だけで「健康」を考えることは難しく、地域住民(居住者)と旅行者(非居住者)との「交流」が非常に重要な時代になってきていると考えられます。健康学的な観点においては、交流の推進によって双方の人々の「自己効力感(セルフエフィカシー)」や「自尊感情(セルフエスティーム)」の高まりが期待できます。もちろん、地方自治においては、経済的な側面においても健康交流を推進する効果が期待できると考えられます。

すなわち、世界的な展開がなされているヘルシー・シティ・プロジェクト(健康都市プロジェクト)に「交流」の概念を加えることで新たなメリットが創出できると考えられるのです。

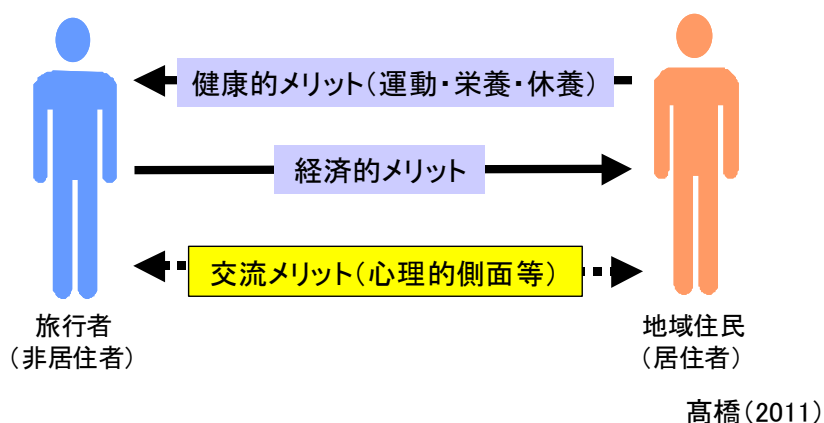


図 新しい健康増進型バカンス、健康交流都市で実現するシナジー効果

東日本大震災復興構想会議におかれましては、様々な有益な議論がなされていることと存じますが、具体的な活動の推進の概念、手法の一つとして、上記のような提言を利用した国民運動等もご検討いただければ幸いです。

当NPOでは、上記の概念を含め、引き続きヘルスツーリズムの振興を通じて健康や医療による新たな健康交流を推進する社会活動を展開してまいります。

この件に対するお問い合わせ先

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構事務局 担当:丹羽、臼井、高橋